

気象の科学展

～天気予報ができるまで～

2022年6月21日(火)

9月4日(日)

毎日の生活におなじみの天気予報を発表しているのが気象台です。明治15年(1882年)、現在の大阪管区気象台の前身にあたる大阪測候所が設立され、本年7月1日に140周年を迎えます。

天気予報には、気象測器と呼ばれる観測装置が欠かせません。様々な気象測器の変遷とともに、天気予報の中にある科学を紹介します。

場所：大阪市立科学館 展示場4階

時間：9:30～17:00

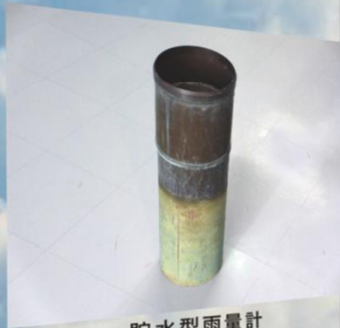
※入場は16:30まで

休館日：毎週月曜日(7/18、8/15は開館)、7/19(火)

参加費：無料(ただし、展示場観覧券が必要です。)

大人400円、学生(高校・大学)300円、中学生以下無料

主催：大阪管区気象台、大阪市立科学館



貯水型雨量計
かつては円筒内にたまった雨水の量を、目盛を読むことで測って雨量を測定していました。



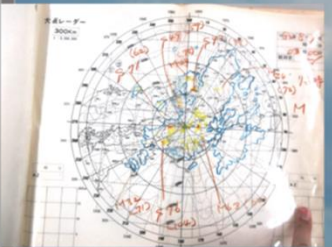
アメダス観測所
雨、風、雪などの気象状況を観測するため、全国に約1,300か所設置されています。



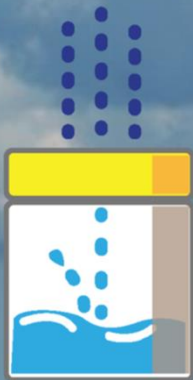
大阪測候所
現在の大阪管区気象台の前身にあたる施設で、明治15年(1882年)に設立されました。



アネロイド気圧計
内部を真空にした管が膨らんだり凹んだりすることを利用して、気圧を測定します。



レーダースケッチ図
以前は気象レーダーに映った雲の画像を、手書きでスケッチして記録していました。



《大阪市立科学館へのアクセス》

- ・京阪中之島線「渡辺橋」駅から徒歩約5分
- ・OsakaMetro四つ橋線「肥後橋」駅から徒歩約7分
- ・OsakaMetro御堂筋線「淀屋橋」駅から徒歩約15分
- ・JR大阪環状線「福島」駅から徒歩約12分

詳細やその他のアクセスはこちらをご覧ください。

<https://www.sci-museum.jp/info/access/>

《お問合せ先》

大阪管区気象台防災調査課 電話：06-6949-6308

大阪市立科学館 電話：06-6444-5656

